

「軍艦島は過去のもの？」

奈良市立飛鳥小学校 教諭 松浦 慎

教諭 三木恵介

1. ESDを生かした授業づくり

(1) 単元名

「軍艦島は過去のもの？」 小学校6年生

(2) 単元の概要

① 軍艦島について

本単元は、2009年に世界遺産暫定リストに登録された「九州・山口の近代化産業遺産群」の一つ、「軍艦島（端島）」を通して、産業の発展と衰退に対する認識を深め、社会の持続性について考え、自己の生き方・行動の変容を促すものである。

「軍艦島」は、長崎県長崎市にある「端島（はしま）」の通称である。かつては、海底炭鉱によって栄えていたが、閉山とともに島民が島を離れ、現在は無人島になっている。大きさは、南北約480m、東西約160mであり、最盛期の人口は約5300人（1960年）に達し、当時の東京の人口密度の約9倍であった。また、石炭の出炭は年間41万トンを誇り、日本の近代化を支えてきた炭鉱の一つであった。軍艦島の特筆すべき点は、わずか63000㎡の島に、炭鉱施設や住宅以外にも、小中学校、病院、寺院、娯楽施設（映画館、パチンコ、雀荘、社交場など）を有し、島内だけでほぼ完結した都市機能を備えていたところである。しかし、主要エネルギーの移行（石炭→石油）に伴い、石炭産業が衰退し、1974年1月に閉山し、同年4月、島は無人島となった。



無人島となって以来、建物の老朽化が進み、長らく立ち入りは禁止されていた。現在、安全面の問題がある程度解決され、長崎市の方針で2009年より島の一部に限り上陸・見学が可能になった。現在、「NPO 軍艦島を世界遺産にする会」等による「軍艦島上陸ツアー」が行われている。これまでの軍艦島上陸ツアーによる経済波及効果は65億円以上（2012年現在）に上る。

無人島となって以来、建物の老朽化が進み、長らく立ち入りは禁止されていた。現在、安全面の問題がある程度解決され、長崎市の方針で2009年より島の一部に限り上陸・見学が可能になった。現在、「NPO 軍艦島を世界遺産にする会」等による「軍艦島上陸ツアー」が行われている。これまでの軍艦島上陸ツアーによる経済波及効果は65億円以上（2012年現在）に上る。

② 教材化にあたって

軍艦島を教材化する上で注目したいキーワードは軍艦島の「過去」「未来」「現在」である。

- 「過去」…軍艦島は、炭鉱という単一資源に依存した島であり、その石炭がニーズを失ったため、島内の生活は持続性を保てなくなる。ここで、軍艦島は動きを止めた「過去」のものとなる。「過去」となった軍艦島を見つめることで、なぜ軍艦島は持続していくことができなかつたのか、社会を持続させていくには何が必要なのかを考えることができる。
- 「未来」…現在の日本の産業衰退や過疎化が進む地域社会にとっては、軍艦島は他人事ではない。軍艦島はそれら地域社会の「未来」の姿かもしれない。軍艦島を他人事の事例と考えるのではなく、自分たちの地域にも当てはめることはできないか、自分たちの地域を未来に持続させていくためには何が必要なのかを考えるきっかけになる。
- 「現在」…社会から忘れられ過去のものとなった軍艦島は、「NPO 軍艦島を世界遺産にする会」を中心とした人々の活動により、観光地として注目を集めることとなった。産業遺産として軍艦島を活用・保存していくことで、島は「現在」にその姿をよみがえらせる。歴史の中で消えようとしていた軍艦島を、遺していこうとする人々の思いや願い・活動に触れることで、ふるさとを遺すためには、人々の思いや願い・行動が必要であることを理解することができる。

【持続可能な社会づくりの構成概念】

構成概念Ⅱ 相互性…「過去」の軍艦島の視点から、人々の暮らし（軍艦島）と地域資源（石炭）の関わりについて理解し、社会の持続性について学ぶ。

構成概念Ⅴ 連携性…「現在」の軍艦島の視点から、持続可能な社会の実現のためには、地域に暮らす人々の協力や思い、そして行動が必要であることを学ぶ。

構成概念Ⅵ 責任性…「未来」の軍艦島の視点から、自分たちの地域社会の将来像を描き、持続可能な社会の構築のために主体的にかかわっていく。

2. ESDの視点を生かした授業の実践

(1) 単元の目標（重視する能力・態度）

《批判》

軍艦島がなぜ地域社会として持続することが不可能であったかを考えることで、持続可能な社会の実現には、何が必要かに気付くことができる。

《未来》

軍艦島の事例を通して、地域を持続させていくには何が必要で、自分たちに何ができるかを考える。

《関連》

軍艦島の発展と石炭が関連していることがわかる。

軍艦島の事例と似た地域が他にもあることがわかる。

《参加》


軍艦島の事例を通して、自分たちの地域でもできることはないかを考え、行動に移すことができる。

(2) 評価規準

関心・意欲・態度 (批判)	思考・判断・表現 (未来)	技能 (参加)	知識・理解 (関連)
①なぜ軍艦島が持続できなかったか関心をもつ。 ②地域の保存・持続のためには、様々な思いや行動があることを知り、軍艦島の取組みに関心を持つ。	①軍艦島の事例を通して、地域を持続させていくには何が必要で、自分たちに何ができるかを考える。	①軍艦島の事例を通して、自分たちの地域でもできることはないかを考え、行動に移すことができる。	①軍艦島の発展と石炭が関連していることがわかる。 ②軍艦島の事例と似た地域が他にもあることがわかる。

(3) 単元の概要 (全5時間)

時	主な学習活動	◇学習への支援 ◆評価																
1	<div data-bbox="549 241 994 349" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <h3 style="margin: 0;">軍艦島ってどんな島？</h3> </div> <p>○軍艦島について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一枚絵から想像を膨らます。 ・なぜ「軍艦」のような島になったのだろうか？ <ul style="list-style-type: none"> ・生活に必要なものをどんどん作ったから。 ・カッコよかったから。 ・基地にしたかった。 など <p>○軍艦島が無人島になった理由を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃墟と化した写真を見て考える。 <div data-bbox="204 801 831 1005"> </div> <p>○資料 (別紙) から理由を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石炭の国内生産・輸入量の推移 ・石油の消費量・輸入量の推移 	<div data-bbox="1043 230 1437 490"> </div> <div data-bbox="863 499 1460 965" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>基礎データ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長崎県の端島、港から約 30 分 ・面積 約 63000 m² (甲子園 5 個分) ・ピーク時は約 5300 人住んでいた。 (東京の人口密度の約 9 倍) ・石炭が採れた。家族で住み込んで採掘。 ・島にあったもの→炭鉱施設、住宅 小中学校、病院、寺院、娯楽施設 (映画館、パチンコ、雀荘、社交場など) </div> <p>◇様々な角度から無人島になった理由を考え、最終的に「石炭採掘のためだけの島であったため、エネルギーの転換により必要がなくなった」という旨を押さえる。</p> <p>◆軍艦島と石炭の関連がわかる。(知・理①)</p> <p>◆自分なりに無人島化の理由を考えている。(関・意・態①)</p>																
2	<div data-bbox="616 1330 1061 1438" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <h3 style="margin: 0;">軍艦島は「過去のもの」？</h3> </div> <p>○日本の他の産業に目を向ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業、漁村はどうだろう。 例 山口県下関市豊北町 ・林業、山村はどうだろう。 例 奈良の林業 ・農業、農村はどうだろう。 例 消滅集落、限界集落など <p>○軍艦島は自分たちが暮らす地域の未来の姿かもしれないことを知る。</p>	<p>◇5年時に学習した社会科の「日本の産業」と結び付けて考えるようにする。</p> <div data-bbox="943 1547 1425 1843"> <table border="1"> <caption>農林業経営体数 (全国)</caption> <thead> <tr> <th>経営体種別</th> <th>平成17年 (千経営体)</th> <th>平成22年 (千経営体)</th> <th>減少率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農林業経営体</td> <td>2,085</td> <td>1,723</td> <td>17.3%減少</td> </tr> <tr> <td>農業経営体</td> <td>2,009</td> <td>1,676</td> <td>16.6%減少</td> </tr> <tr> <td>林業経営体</td> <td>200</td> <td>141</td> <td>29.7%減少</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>出典:「2010年世界農林業センサス結果の概要 (暫定値)」</p> <p>◇共通点として「ニーズがなくなることによる衰退」や「安価な外国産の流入・国内産業の衰退」があることに気付かせる。</p> <p>◆軍艦島の同じような未来を辿るかもしれない地域があることがわかる。(知・理②)</p>	経営体種別	平成17年 (千経営体)	平成22年 (千経営体)	減少率	農林業経営体	2,085	1,723	17.3%減少	農業経営体	2,009	1,676	16.6%減少	林業経営体	200	141	29.7%減少
経営体種別	平成17年 (千経営体)	平成22年 (千経営体)	減少率															
農林業経営体	2,085	1,723	17.3%減少															
農業経営体	2,009	1,676	16.6%減少															
林業経営体	200	141	29.7%減少															

3	<div data-bbox="359 152 1275 259" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 軍艦島は「未来の姿」？自分たちの地域もそうなるの？ </div> <p>○自分たちの地域が持続していくためには、 どうすればいいか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの地域は持続可能なの？ <p>○軍艦島を未来に遺すための取組を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットで遺す取組・伝える取組を調べる。 →世界遺産運動 →観光地化  <p>○自分たちの地域を未来に遺していくためには、「遺そうという思い」だけでなく「具体的な行動」が必要なことを知る。</p>	<p>◇HP「軍艦島を世界遺産にする会公式 WEB」などを活用する。</p> <p>◇あくまで「世界遺産運動」「観光地化」は未来に遺し、伝えるための手段の一つであるということに留意する。</p> <p>◆地域の保存・持続のためには、様々な思いや行動があることを知り、軍艦島の取組に関心を持つ。(関・意・態②)</p>
4	<div data-bbox="411 969 1262 1093" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 軍艦島は「過去」でも「未来」でもなく「遺したいもの」。自分たちの地域でも、今できることはないだろうか？ </div> <p>○自分たちの地域を未来に遺していくためにできることがないかを考え、行動に移す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、放っておかれているモノ（過去）はない？ ・このまま放っておいたら未来にはなくなってしまうモノはない？ ・大切なものを未来に遺していくには何ができるだろう？ ・思い（考え）を行動に移そう！ 	<p>◇児童の実態に合わせて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラス内…みんなに知らせたい、「友達のいいところ」はないか。 ・学校内…忘れられている「学校のいいところ」はないか。 ・地域…他地域に伝えたい「地域の素敵なおとこ・もの」はないか。 <p>など活動を展開する場を工夫する。</p> <p>◇自分たちにできる身近なことから考えさせる。</p> <p>◆地域を持続させていくには何が必要で、自分たちに何ができるかを考える。(思・判・表①)</p>
5	<p>○取組内容・成果をまとめて他校・他学年に向けて発信しよう。</p>	<p>◇模造紙などに活動内容・成果をまとめ、「カルチャーボックス」として発信し、交流するようにする。</p> <p>◆自分たちの地域でもできることはないかを考え、行動に移すことができる。(技①)</p>

参考文献

- ・『軍艦島の遺産－風化する近代日本の象徴』後藤恵之輔・坂本道德著 長崎新聞新書 2005
- ・長崎市発行、軍艦島リーフレット